

法華山谷川(兵庫県)

緊急治水対策により水位が約80cm低下

(平成30年7月豪雨)



Before:

平成23年台風第12号

- 平成23年9月の台風第12号では1640戸(床上:424戸、床下:1216戸)が浸水。



After:

平成30年7月豪雨

- 平成23年災害を踏まえ、加古川市、高砂市とともに、床上浸水対策特別緊急事業を核とする緊急治水対策を実施。
- 平成30年7月豪雨では、志方雨量観測所において、戦後最大規模の降雨であった平成23年台風第12号と同等の累計雨量を観測。

○浸水被害は発生せず、緊急治水対策の効果により、法華山谷川(魚橋雨量観測所)において、水位が約80cm低下。

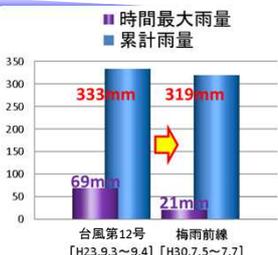
緊急治水対策の概要



- 県事業
事業費：約140億円
内容：河川改修 約10km、橋梁改築6橋等
- 加古川市事業
事業費：約1億円
内容：輪中堤整備、間の川改修
- 高砂市事業
事業費：約30億円
内容：間の川ポンプ場のポンプ増設(1.1→6.5m³/s)、間の川改修



整備効果



横断面図 (魚橋水位観測所)

